



## 研究主題

外国語を通して、すすんでコミュニケーションを図ろうとする児童の育成

## 目指す児童像（低学年ブロック）

外国語に触れ、外国語でコミュニケーションに慣れ親しもうとする児童

第2回 研究授業報告 5月18日（火）第2学年 Color

授業者：T1 相原 大成、T2 佐々木 隆志

講師：玉川大学教職大学院 名誉教授 佐藤 久美子先生

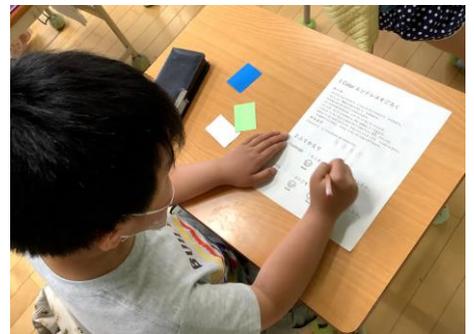
### 【本時のねらい】

色に関する表現を使い、すすんで交流する。

### 【授業のポイント】

低学年は、主にチャンツや歌、アクティビティを通して英語を学ぶことで、楽しく英語に関わらせていきたいと考えています。自信をもって活動できるように、フラッシュカードを用いて、学級全体、ペア、個人の様々な形態を通して練習することで、英語表現を身に付けます。そのうえで「すごろく」や「カード集め」を行い、「What color is it?」「It's...」の基本となる表現をたくさん発話します。友達同士のコミュニケーションを活発にさせ、楽しみながら取り組めるようにしました。

### 【授業の様子】



### 【児童の様子】

- 活動を通して、積極的に英語を使おうとしていた。
- 繰り返して発音練習することで、色の表現を身に付けることができていた。

### 【講師の佐藤先生より】

導入で、一人ずつ先生と挨拶して対話する活動が素晴らしかった。人前で話すことはコミュニケーション力の育成につながる。「しっかり聞く。」「しっかり話す。」ことが大切。子どもたちは、色の英単語をしっかりと覚えていた。英単語の発音練習しながら「Do you like pink?」と教員が聞いてみるなど、文章で使っていくことが今後の言語活動につながる。最終的な到達点は、児童同士が自分の気持ちや考えを友達に伝えることなので、「Do you like pink?」「I like pink.」「Me too.」などのやり取りができるようになるといい。「Here you are.」「Thank you.」や日直の始めと終わりの挨拶も日常的に使うことで、自然と話せるようになる。コミュニケーションの授業なので、振り返りも言葉で伝え合えうことが大切である。

様々な御指導をいただきました。今回の研究授業を生かして、より一層、授業力向上に努めていきます。

